

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	23. 国土強靱化地域計画に基づく道路網の整備														
計画の期間	令和03年度～令和05年度（3年間）										重点配分対象の該当	○			
交付対象	神奈川県														
計画の目標	国土強靱化地域計画に基づき、災害時における地域の交通・物流を確保するため、緊急輸送道路等の整備を重点的に推進し、「災害に強いかながわ」の実現を目指す。														
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		2,610	A	2,610	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R5末
1	バイパス整備等により、走行時間を31%短縮させる。 走行時間短縮率（%）＝（Σ要素事業の現道での所要時間（分）－Σ要素事業供用による所要時間（分））／Σ要素事業の現道での所要時間（分）×100	0%	%	31%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R03 R04 R05 R06 R07																	
		一体的に実施することにより期待される効果																	
道路事業	A01-001	備考																	
		道路	一般	神奈川県	直接	神奈川県	都道府 県道	改築	（主）伊勢原津久井・日 向（ 工区）	現道拡幅 L=0.17km	伊勢原市	■					60		-
		P1から 工区を分割し移行（R3）																	
	A01-002	道路	一般	神奈川県	直接	神奈川県	都道府 県道	改築	（一）上粕屋厚木・西富 岡バイパス	バイパス L=0.70km	伊勢原市	■	■	■			1,089		-
		P1から移行（R3～）																	
		A01-003	道路	一般	神奈川県	直接	神奈川県	都道府 県道	改築	（一）大山板戸・大山バ イパス	バイパス L=1.43km	伊勢原市	■					384	
	P1から移行（R3）																		
	A01-004		道路	一般	神奈川県	直接	神奈川県	都道府 県道	改築	（主）伊勢原津久井・古 在家工区（北側）	バイパス L=0.62km	清川村	■	■				817	
		P1から移行（R3～）																	
		A01-005	道路	一般	神奈川県	直接	神奈川県	都道府 県道	改築	（一）中井羽根尾・ 期 工区-A工区	バイパス L=0.21km	小田原市	■					50	
	P1からA工区を分割し移行（R3）																		
	A01-006		道路	一般	神奈川県	直接	神奈川県	都道府 県道	改築	（主）伊勢原津久井・日 向（ B工区）	現道拡幅 L=0.13m	伊勢原市		■	■			60	
		P1から B工区を分割し移行（R4）																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	街路	一般	神奈川県	直接	神奈川県	S街路	改築	都市計画道路 城山多古 線ほか（ 工区）	道路新設 L=0.4km	小田原市			■			150	-	
		P1から 工区を分割し移行（R5）																	
											小計						2,610		
											合計						2,610		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画策定主体（神奈川県）にて評価を実施。	令和8年8月
	公表の方法
	神奈川県ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	災害時における地域の交通・物流の確保を目的とした国土強靱化地域計画に基づく道路整備は、概ね計画通り推進された。 また、バイパス整備に伴い、走行時間の短縮や新たにリダンダンシーが確保された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
本計画完了後も、引き続き、防災・安全交付金を活用し、国土強靱化地域計画に基づく事業を計画的に推進する。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	31%	用地交渉の難航等により最終目標値を達成することが出来なかった。
	最 終 実績値	19%	